大八工業株式会社

大型ロール曲げ加工の技術で大規模タワー製造に対応
陸上風力発電の支柱製作実績も

想定分野　基礎製造（着床式・浮体式）❯ 大型製缶・機械加工

大型ロール曲げ加工から機械加工まで一貫生産

製紙工場の大型タワーやタンク、製鉄所の熱高炉、クレーンや風力発電の支柱など、大物部品の加工を得意とする大八工業。風力発電の分野では、陸上の風力発電用支柱の製作実績を有する。多種多様な製品のロール曲げ加工において実績を持っており、蓄積された技術力・経験値は国内の大手企業等からも高い評価を得ている。材料切断、溶接、機械加工、塗装、検査の工程を自社工場内で完結することで効率的かつコストを抑えたものづくりを実現。本社工場の建屋面積は、幅30m、奥行き215m。大型のベンディングローラーや五面加工機など県内有数の加工設備を保有し、大物部品の曲げ加工や高精度のフランジ加工を行う。最大サイズ幅9m、高さ5m、最大重量40tの大型構造物製造が可能。素材の手配・調達から、製造、出荷、設置までの一貫体制に加えて、近接する黒島埠頭公共岸壁を利用することで海上輸送で迅速に出荷できる。

製造サイズ・重量：製缶品の場合、4m幅で36㎜厚、2m幅で50㎜厚の曲げ加工、最大径9m×最大高5mまで対応が可能、材質：SS材、SN材、SD材、SUS材他

採用実績・施工例

陸上風力発電用の支柱約70mを製作

長さ約70mの陸上風力発電用支柱を3分割で製作し、現地にてボルト接合。縦型旋盤により鍛造フランジの加工、NC鋼板切断機にてV開先を自動で切断、円錐曲げや溶接、塗装など全工程を自社設備内で実施。フランジの平面度、垂直度の精度において高評価を得ている。

ロータリーキルン円筒の製作

セメントの製造時などに使用されるロータリーキルンの円筒部分の製作は、外周長公差+9㎜、内半径公差+1.5㎜、内直径公差+3㎜と非常に厳しい要求に対応する必要がある。精度を保つため、製作中の確認や検査など寸法管理が重要で、ノウハウが求められる。

主要設備機械

- ベンディングロール：32tx4000㎜／1台
- 5面加工機：4000㎜×10000㎜×3500㎜／1台
- 4kwレーザー切断機：4mx15m／1台
- プラズマ500A+ガス切断機：4mx20m／1台
- 縦型旋盤：φ7000xH2880／1台・φ2200xH1500／1台
- パイプコースター：600Ax6m／1台
- 天井クレーン：5~20t／4台
- 片脚橋型クレーン：4.8t／12台
- アイアンワーカー：IW45III／1台

会社情報

事業内容／製缶加工
所在地／〒792-0892 愛媛県新居浜市黒島1-6-55
設立／1972年4月　資本金／1,200万円　従業員／26名
代表者／代表取締役社長　谷澤 豪彦
TEL／0897-46-2229　事務所／新居浜市
E-mail／tanizawa@daihachi-kogyo.co.jp
URL／http://www.daihachi-kogyo.co.jp/